

## 弘前藩の賞典禄について（下）

坂 本 寿 夫

本稿では第一〇三号に続き、弘前藩における賞典禄対象者のリストの後半部分、A表6V、A表10Vを収録する。

弘前藩の賞典禄の特色についてはすでに第一〇三号で述べているのでここで繰り返すことは避けたいと思う。かわりに賞典禄のその後の問題、つまり士族の秩禄処分について、ごく小文であるが考察してみたい。

賞典禄のうち現米で給付されたのは二四四件・二〇一〇石余で、その平均は八・二四石と微少なものとどまったことは第一〇三号所収「弘前藩賞典禄一覧表」で明らかにしたが、たとえ僅かな額でもそれが金禄公債に家禄とともに上乘せされたことは、封建家臣団が解体された明治初期の士族家計にとっては重要な意味を有していた。周知のように金禄公債とは明治政府が封建領主・家臣団の家禄支給を停止する代償として交付された公債で、明治九年（一八七六）八月五日の金禄公債証書発行条例の成立によって発行された。公債は額面によって一〇円、五〇〇〇円まで八種類あり、利率や額は金禄の種類によって差があったが、高禄者ほど支給率が低く、低禄者ほど支給率は高く設定されていた。また永世禄の金禄は元高の五、十四年分の額面に対して五、七分の利率が付い

たため、条件はすこぶる有利なものであった。さらに終身禄は永世禄の半額が金禄として認められた。こうして秩禄高は全国で一億七三、八四万四五、九五円・支給人員三二万三、五七一七名にのぼったのである。この額面は当時の国家歳出の三倍という巨額な数値であったが、実際の一人当たりの平均額面は最多数を占める七分利付公債受給者で四五〇円、利子年収は二九円弱に過ぎなかった。そのため多くの士族は金禄公債を転売したり、国立銀行に出資して年金生活者やプロレタリアートに転身したのである。<sup>1)</sup>

それでは旧弘前藩士の金禄公債はどのように額面が決定されたのであろうか。基本的に額面は明治五年（一八七二）～同七年（一八七四）の三カ年米価平均に家禄高を乗じる方法で出された。しかし明治八年九月二十五日に青森県は大蔵省に対して稟議書を提出し、青森県の場合は場所によって米価に高下があり、全県一律の額面を算出しがたしとして、旧弘前県士族は津軽郡の、旧斗南・七戸・八戸県士族は二戸・三戸・北郡三郡の米価平均をもって額面算出の根拠としたいとし、これを認められた。この時、津軽郡の三カ年平均米価は一石に付き二・八六八五四円

と定められ、これに家禄元高と支給年限が乗じられて公債の額面が決定されたのである。<sup>2)</sup>

別表は明治四年末段階で家禄六石以上を支給されていた人数と、彼らが受給していた金禄高・禄税・差引残高を示している。ただし、人数については例えば表にない家禄元高九石六斗の者六名などを省略しているため、厳密には一四名がこれに加わることになる。それでもこの別表を参照することによって、明治九年頃の士族家計の大凡の傾向を読み取ることが可能であろう。今、金禄公債の支年限を一一・五年、利率を七分と仮定してみよう。すると家禄元高八〇石の者の額面は約二六三九円、利子は約一八四円である。一見すると随分潤沢な金額に思えようが、当時日雇いなど下層民の年間生計費は一人当たり二五円、一家で一〇〇円〜一二〇円程度とされており、一八四円では最低生活の範疇を超えるものではないのである。<sup>3)</sup> 実際一八四円の利子を一年間で割ると一日の可処分所得は約五〇銭に過ぎず、藩主家を別とすれば金禄公債からの利子だけで生活するのは士族にとっては不可能であった。

そこで生計のわずかな足しとなったのが永世禄・終身禄であり、銀行などへの出資による利潤の確保であった。ところが前述したように永世禄・終身禄支給の平均は八・二四石にとどまっており、これに生計を頼るのが無理であったのは言うまでもなからう。よって士族らの大きな関心は銀行への出資に向けられた。青森銀行の前身である第五十九国立銀行が開業したのは明治一二年（一八七九）一月であったが、資本金二〇万円・出資者六九七名の約九五％は士族で、同行が「士族銀行」と呼ばれたのはその設立目的が禄券保護にあったからである。

ここで禄券保護の一事例として士族戸田千代吉の場合を見よう。戸田の廃藩時における家禄高は八〇俵（三三石）で、明治三年から士族の家計救済のために行われた帰田法によって、彼は飯詰組浅井村（現五所川原市浅井）に田地三町一畝一七歩を与えられ、廃藩後は同村に家族と共に居住していた。戸田には農家に転身する途も開かれていただろうが、農事に慣れない彼はそれを嫌ったのか、地元の豪農阿部賢吉家に三町歩余の土地を担保として度々借財を重ね、その金で生活していたようである。戸田の浅井村での生活が少なくとも明治七年（一八七四）まで続いたことは、阿部家との貸借関係を示す帳簿から確認できる。その後、戸田は恐らく田地を売り払い、弘前の塩分町に転居した。そして第五十九国立銀行の設立にあたり彼は一三株・六五〇円の出資をしているのである。<sup>4)</sup> 家禄三三石の戸田が所持していた金禄公債の額面を別表から推計すると、最大計算でも一〇五五円余であり、その半分以上を売却して出資金にあてていることになる。もちろんこれはあくまで机上の計算に過ぎず、戸田に先祖より受け継いだ資産があったり、三町歩の田地が高値で売れたことを想定すれば事情は変化するだろう。それでも大切な公債を手離し、金利生活者に転化する困窮士族の姿を戸田の例に照射することはあながち無理とは言えないだろう。

論旨が多少賞典禄からそれた感もあるが、以上のように賞典禄から得られた士族利益が過少だったことは、秩禄処分の結果を見ても明らかであろう。

註

- (1) 金禄公債の全国的傾向については『国史大辞典』4 (吉川弘文館 七〇九頁) によった。
- (2) 『青森県歴史』四 (みちのく叢書第二六集・昭和四四年) および弘前市立博物館所蔵文書「原禄高訂正方」
- (3) 中村哲「領主制の解体と土地変革」(『講座日本歴史7』近代1・一四八頁、東京大学出版会) 参照
- (4) 戸田千代吉の生計事情については五所川原市阿部家文書三三三―二二、『青森銀行史』(昭和四三年・青森銀行刊、六四頁) によった。  
(さかもと・ひさお 青森県立五所川原工業高校教諭)

「別表」金禄公債分布一覧表

No	家禄元高	人数	左 %	金禄高 (円)	禄税 (円)	税率 (%)	残金 (円)
1	80石	11	0.4	229,483	29,259	12.8	200,224
2	60石	4	0.2	172,112	21,514	12.5	150,598
3	40石	22	0.9	114,742	13,482	11.8	101,260
4	32石	348	14.0	91,793	11,327	12.3	80,466
5	24石	64	2.5	68,845	7,171	10.4	61,674
6	16石	257	10.0	45,897	4,016	8.8	41,881
7	12石	902	35.0	34,422	2,582	7.5	31,840
8	8石	691	27.0	22,948	1,044	4.5	21,904
9	6石	275	11.0	17,211	367	2.1	16,844
計		2,574					

弘前市立博物館蔵「原禄高訂正方」・「青森県歴史」1 (みちのく叢書18) より作成

<表6>戦死・負傷者手当ての部（軽格・郷夫）

NO	氏名	役職等	米・金・銭・扶持	昇進	主な功績	備考
1211	山中直次郎	以下予備隊	2.5両		野辺地戦争・函館戦争で尽力	
1212	浅野安之進	武庫帳合方加勢	30両		秋田矢島口の戦いで負傷	
1213	三浦銀弥		7俵		函館一本木の戦いで戦死	永世祿
1214	早川定吉	三等銃卒		二等銃卒へ	函館栲楼野の戦いで負傷	
1215	古川村ノ喜久内	掃除方	18俵	三等銃卒へ	野辺地戦争で負傷	永世祿
1216	石渡村ノ大助	郷夫	銭60文・2人扶持	掃除方へ	函館一本木の戦いで負傷	
1217	柏原村ノ文作	小嶋左近附夫	5俵		野辺地戦争で戦死	祭米・永世
1218	松森村ノ清蔵	谷口永吉附夫	5俵		野辺地戦争で戦死	祭米・永世
1219	金木村ノ久野助	大砲引夫	5俵		秋田雄ヶ平の戦いで戦死	祭米・永世
1220	上田村ノ長之助	石郷岡麿之助附夫	5俵		函館峠下の戦いで戦死	祭米・永世
1221	駒越村ノ安之助	郷夫(薩摩藩へ貸付)	5俵		函館二股の戦いで戦死	祭米・永世
1222	葛原村ノ定吉	郷夫(薩摩藩へ貸付)	5俵		函館大川村の戦いで戦死	祭米・永世
1223	坂留村ノ三次郎	郷夫	5俵		野辺地戦争で負傷	終身手当米
1224	藤代村ノ勘兵衛	弾薬持夫	5俵		秋田矢島口の戦いで負傷	終身手当米
1225	種里村ノ十次郎	郷夫(薩摩藩へ貸付)	5俵		函館七重浜の戦いで負傷	終身手当米
1226	日照田村ノ長次郎	郷夫(薩摩藩へ貸付)	5俵		函館七重浜の戦いで負傷	終身手当米
1227	国吉村ノ幸吉	郷夫(薩摩藩へ貸付)	5俵		函館大川村の戦いで負傷	終身手当米
1228	浦町村ノ三蔵	郷夫	15両		野辺地戦争で負傷	
1229	遠道村ノ久作	郷夫	15両		野辺地戦争で負傷	
1230	小豆沢村ノ七之助	郷夫	15両		野辺地戦争で負傷	
1231	町田村ノ嘉之	弾薬持夫	15両		新沢口で負傷	
1232	六枚橋村ノ石五郎	郷夫(福山藩へ貸付)	15両		函館松前口で負傷	
1233	六枚橋村ノ美作	郷夫	15両		函館渡海の節青森で負傷	
1234	六枚橋村ノ久次郎	郷夫	15両		函館渡海の節青森で負傷	
1235	六枚橋村ノ宇吉	郷夫	15両		函館渡海の節青森で負傷	
1236	小橋村ノ由松	郷夫	15両		函館戦争で負傷	
合計			80俵・167.5両・銭60文・2人扶持			

<表7>輜重司・輜重方・营造方・器械方・糺察方・見聞方の部

NO	氏名	役職	金	主な功績	備考
1237	近藤栄三郎	加藤武彦手輜重司	80両	秋田方面の兵站	
1238	葛西銀之進	都谷森逸眠手輜重司	80両	函館戦争の兵站	
1239	成田礼蔵	木村千別手輜重司	80両	函館戦争の兵站	
1240	成田東平治	木村千別手旗手長	金3000疋	野辺地・函館戦争出張	
1241	松田良三郎	木村千別手軍監	15両	小湊口・函館戦争出張	
1242	横嶋彦太夫	加藤武彦手軍監	金2000疋	秋田水沢口出張	
1243	唐牛九右衛門	加藤武彦手旗手長	金700疋	秋田水沢口出張	
1244	小山形蔵	加藤武彦手輜重方・会計局筆生	15両	秋田・函館戦争出張	
1245	吉崎源蔵	加藤武彦手参軍助・三等銃隊	15両	秋田水沢口出張	
1246	笹森勇太郎	斥候・郡民事局属事	15両	秋田・函館戦争出張	
1247	市川吉太郎	輜重方	15両	野辺地・函館戦争出張	吉太郎は四等下 准格千代助倅
1248	神安左衛門	木村千別手筆生・軍務局属事	15両	小湊口・函館戦争出張	
1249	葛西金之丞	山崎主計手半隊司令士・軍務局属事	15両	秋田・各所出張	
1250	田中紀四郎	斥候	15両	函館戦争出張	紀四郎は二等銃 隊隊外元一倅
1251	斎藤喜美弥	三等銃隊	15両	碓ヶ関口探索	
1252	須藤源之丞	都谷森逸眠手見聞方・糺察方	15両	秋田出張	
1253	工藤貞助	輜重方・会計局属事	15両	函館戦争出張	
1254	川村熊之進	輜重方・会計局属事	15両	野辺地・函館戦争出張	
1255	川村元弥	輜重方武庫方筆生・会計局属事	15両	函館戦争出張	
1256	斎藤常司	記載なし	15両	函館戦争出張	
1257	木村蔵吉	輜重方・学校筆生	15両	秋田・函館戦争出張	
1258	佐々木小太郎	輜重方・会計局筆生	15両	函館戦争出張	
1259	石岡周右衛門	記載なし	10両	函館戦争出張	
1260	小田桐謙治	輜重方・会計局属事	10両	秋田出張・官軍輜重方	
1261	小笠原彦一	輜重方・会計局筆生	10両	函館戦争出張	
1262	工藤文八郎	輜重方・会計局筆生	10両	函館戦争出張	
1263	石戸谷文弥	軍務局属事	10両	兵制改革・函館戦争出張	
1264	白取乙太郎	記載なし	10両	陣場村出張・弾薬運搬方	
1265	菊池愛太郎	郡民事局筆生	10両	青森で海軍に従事	
1266	間山広吉	杉山龍江附斥候・初等准格軍務局属事 手伝い	10両	函館戦争出張	
1267	須藤寛平	杉山龍江附斥候	10両	函館戦争出張	寛平は予備銃隊 雄二倅
1268	一戸兵司	加藤武彦手斥候・郡民事局属事	10両	秋田水沢口出張	
1269	櫛引栄次郎	加藤武彦手斥候・三等銃隊	10両	秋田水沢口出張	
1270	外崎久馬	山崎主計隊伝令士・二等銃隊	10両	秋田出張・各地探索	
1271	本多謙一	斥候・三等銃隊	10両	函館戦争出張	
1272	藤田学一	斥候・三等銃隊	10両	函館戦争出張	
1273	神恵之助	斥候	10両	函館戦争出張	恵之助は二等銃 隊八太夫弟

1274	奈良証吉	筆生・四等下准格	10両	秋田・函館戦争出張	
1275	内藤吉郎太	筆生・軍務局筆生加勢	10両	青森で海軍に従事	
1276	田沢桑作	加藤武彦手斥候・三等銃隊	金700疋	秋田水沢口・函館戦争出張	
1277	小田桐友平	加藤武彦手斥候・二等銃隊	金700疋	函館戦争出張	
1278	石郷岡 鼎	木村千別手砲院方・軍務局属事	金700疋	秋田・函館戦争出張	
1279	長谷川献吉	木村千別手砲院筆差四方	金700疋	野辺地・函館戦争出張	献吉は市民事務局筆生秀蔵件
1280	斎藤清司	筆生・軍務局筆生	金700疋	函館戦争出張	
1281	三浦房蔵	北川六左衛門手筆生・軍務局筆生	金700疋	函館戦争出張	
1282	相馬友一	木村千別手砲院掛・三等銃隊	金700疋	野辺地出張	
1283	対馬兵吉	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	野辺地・函館出張	
1284	桜田善四郎	輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地・函館出張	
1285	小野周次郎	輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地・函館出張	
1286	奈良岡良吉	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1287	浪岡連助	輻重方・四等下准格	金700疋	秋田出張	
1288	赤石謙吉	輻重方・以下予備隊	金700疋	小湊口・函館戦争出張	
1289	佐々木卯吉	輻重方・以下予備隊	金700疋	秋田・函館出張	
1290	成田儀兵衛	輻重方・初等准格	金700疋	野辺地・函館出張	
1291	小山左門	輻重方・初等准格	金700疋	野辺地出張	
1292	神 周作	輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地出張	
1293	須藤甚八郎	輻重方・四等下准格	金700疋	秋田水沢口・函館出張	
1294	三上兵作	輻重方・初等准格	金700疋	秋田姥ヶ平出張	
1295	三上彦右衛門	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田姥ヶ平出張	
1296	長谷川秀蔵	輻重方・市民事務局筆生	金700疋	秋田水沢口出張	
1297	間山文八	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田水沢口出張	
1298	寺田喜十郎	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田水沢口・函館出張	
1299	榎 源蔵	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1300	桑田平左衛門	館山善左衛門手輻重方・会計局属事	金700疋	秋田出張	
1301	東海吉兵衛	館山善左衛門手輻重方・会計局筆生	金700疋	秋田出張	
1302	佐々木刑部左衛門	成田求馬手輻重方・西浦属事	金700疋	秋田矢島口出張	
1303	佐藤栄蔵	成田求馬手輻重方・会計局筆生	金700疋	秋田矢島口出張	
1304	工藤忠司	成田求馬手輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田矢島口出張	
1305	川田銀作	成田求馬手輻重方・四等下准格	金700疋	秋田矢島口出張	
1306	海老名謙次郎	成田求馬手輻重方・会計局筆生	金700疋	秋田矢島口出張	
1307	佐野伴蔵	都谷森甚弥手輻重方	金700疋	秋田大館口出張	
1308	三上常弥	都谷森甚弥手輻重方・会計局属事	金700疋	秋田大館口出張	
1309	木村勇太郎	加藤武彦手輻重方・以下予備隊	金700疋	秋田水沢口出張	
1310	江利山富蔵	加藤武彦手輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田水沢口出張	
1311	吉野善司	加藤武彦手輻重方	金700疋	秋田水沢口出張	
1312	今 文之助	都谷森甚弥手輻重方・会計局筆生	金700疋	秋田大館口出張	
1313	浪岡武左衛門	都谷森甚弥手輻重方	金700疋	秋田大館口出張	武左衛門は西浦属事次府運助件
1314	葛西寅一郎	都谷森甚弥手輻重方・会計局筆生	金700疋	秋田大館口出張	
1315	田村新十郎	木村千別手輻重方・会計局属事	金700疋	野辺地出張	
1316	松田東吾	木村千別手輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	野辺地出張	
1317	永沢又六	木村千別手輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地出張	
1318	駒井初太郎	木村千別手輻重方	金700疋	野辺地出張	初太郎は西浦属事次府太郎件
1319	大沢清司	木村千別手輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地出張	
1320	高木徳之助	木村千別手輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地出張	
1321	浅田豊作	木村千別手輻重方・会計局筆生	金700疋	野辺地出張	
1322	秋元惣助	木村千別手輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	野辺地出張	
1323	和嶋文蔵	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1324	築館与惣平	輻重方	金700疋	函館戦争出張	与惣平は营造方属事次席高助件
1325	成田理三郎	輻重方・以下予備隊	金700疋	函館戦争出張	
1326	斎藤水八郎	輻重方	金700疋	函館戦争出張	
1327	相馬小三郎	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1328	須藤亮平	輻重方・营造方属事	金700疋	函館戦争出張	
1329	今 四郎助	輻重方・煩隊	金700疋	函館戦争出張	
1330	唐牛彦兵衛	輻重方・会計局筆生	金700疋	函館戦争出張	
1331	工藤文蔵	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1332	桜庭制蔵	輻重方・以下予備隊	金700疋	函館戦争出張	
1333	三浦武五郎	輻重方・以下予備隊	金700疋	函館戦争出張	
1334	杉沢七郎右衛門	輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1335	斎藤三吾	北川六左衛門手輻重方	金700疋	函館戦争出張	
1336	棟方兵四郎	北川六左衛門手輻重方	金700疋	函館戦争出張	
1337	田中熊太郎	北川六左衛門手輻重方	金700疋	函館戦争出張	
1338	一戸清之助	北川六左衛門手輻重方・三等銃隊	金700疋	函館戦争出張	
1339	佐々木吉之丞	北川六左衛門手輻重方・三等銃隊	金700疋	函館戦争出張	
1340	伊藤寅一	加藤善太夫手輻重方・郡民事局筆生	金700疋	秋田水沢口出張	
1341	岡本三弥	加藤善太夫手輻重方・山林見廻締方	金700疋	秋田水沢口出張	
1342	工藤証吉	加藤善太夫手輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田水沢口出張	
1343	佐藤忠左衛門	加藤善太夫手輻重方・会計局属事	金700疋	秋田水沢口出張	

1344	佐藤八十郎	加藤善太夫手輻重方・三等銃隊隊外	金700疋	秋田水沢口出張	
1345	横嶋八十八吉	加藤善太夫手輻重方・營造方筆生	金700疋	秋田水沢口出張	
1346	久我源六	加藤善太夫手營造方・營造方筆生	金700疋	秋田水沢口出張	
1347	笹森貞助	加藤善太夫手營造方・營造方属事	金700疋	秋田水沢口出張	
1348	佐藤要八	館山善左衛門手營造方・四等下准格	金700疋	秋田出張	
1349	工藤平内	館山善左衛門手營造方・營造方筆生	金700疋	秋田出張	
1350	福土源吉	木村千別手營造方・四等下准格	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1351	川村幾太郎	木村千別手器械方・武庫方筆生	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1352	柴田健之進	木村千別手器械方・三等銃隊隊外	金700疋	函館戦争出張	
1353	藤本安太郎	木村千別手器械方・武庫板合方	金700疋	函館戦争出張	
1354	新屋平太郎	木村千別手器械方・武庫板合方	金700疋	函館戦争出張	
1355	奈良健藏	成田求馬手器械方・武庫方筆生	金700疋	秋田矢島口出張	
1356	福土得弥	加藤善太夫手器械方・武庫板合方	金700疋	秋田水沢口出張	
1357	三浦又八	加藤善太夫手器械方・武庫板合方	金700疋	秋田水沢口出張	
1358	寺田清藏	加藤善太夫手器械方・武庫板合方	金700疋	函館戦争出張	
1359	八木沢良太郎	加藤善太夫手器械方・武庫板合方	金700疋	函館戦争出張	
1360	佐々木栄藏	器械方・一等銃卒	金700疋	秋田矢島口・函館戦争出張	
1361	横山鉄之助	北川六左衛門手器械方・一等銃卒	金700疋	函館戦争出張	
1362	田中八太郎	成田求馬手札察方・初等准格	金700疋	秋田矢島口出張	
1363	斎藤三弥	都谷森甚弥手札察方	金700疋	秋田大館口出張	
1364	伴喜太郎	都谷森甚弥手札察方	金700疋	秋田大館口出張	
1365	森与一郎	加藤善太夫手札察方	金700疋	秋田水沢口出張	
1366	成田連八郎	加藤善太夫手札察方	金700疋	秋田水沢口出張	
1367	葛西鉄五郎	札察方・初等准格	金700疋	秋田姥ヶ平口出張	
1368	金沢文弥	都谷森甚弥手札察方・初等准格	金700疋	秋田大館口出張	
1369	藤田周藏	館山善左衛門手札察方・初等准格	金700疋	秋田大石口出張	
1370	野藤盛之助	都谷森甚弥手見聞方・札察方	金700疋	秋田大館口出張	
1371	須藤藏八郎	都谷森甚弥手見聞方・以下予備隊	金700疋	秋田大館口出張	
1372	福土久兵衛	見聞方・札察方加勢	金700疋	秋田矢島口出張	
1373	今岩吉	田中宗右衛門手見聞方・札察方加勢	金700疋	秋田矢島口出張	
1374	小野小右衛門	加藤善太夫手見聞方・札察方	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1375	古川八郎	加藤善太夫手見聞方・以下予備隊隊次席	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1376	五十嵐源太郎	加藤善太夫手見聞方・札察方	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1377	小山内弥吉	加藤善太夫手見聞方・札察方	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1378	清野健司	加藤善太夫手見聞方・札察方	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1379	新屋市弥	木村千別手見聞方・以下予備隊隊次席	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1380	藤田助弥	木村千別手見聞方・以下予備隊隊次席	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1381	工藤岩太郎	木村千別手見聞方・以下予備隊隊次席	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1382	羽賀玄之吉	木村千別手見聞方・一等銃卒	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1383	斎藤勘太郎	木村千別手見聞方・一等銃卒	金700疋	野辺地・函館戦争出張	
1384	白取門次郎	見聞方・札察方加勢	金700疋	野辺地出張	
1385	白戸九十郎	見聞方・隠密方	金700疋	野辺地出張	
1386	佐藤直吉郎	加藤善太夫手見聞方・以下予備隊	金700疋	秋田水沢口出張	
合計			650両・83400疋		

<表8>重臣・各地周旋方・輻重方・探索方等の部

NO	氏名	役職	現米・金・扶持	物品	昇進	主な軍功	備考
1387	対馬嘉三郎		10両				
1388	伊東熊太郎		20両			各藩へ周旋	叔父次郎八にかわり嘉賞
1389	三浦只五郎		金2000疋			官軍輻重方	
1390	斎藤助作		10俵			官軍輻重方	勤料・終身禄
1391	菊池愛太郎		金1500疋			官軍輻重方	
1392	工藤勝之丞		10俵			各地輻重方	勤料・終身禄
1393	伊藤勘八郎		10俵			各地輻重方	勤料・終身禄
1394	対馬全一		10俵			函館戦争で各地周旋	勤料・終身禄
1395	伊東左馬吉		10俵				勤料・終身禄
1396	山田左四郎		10俵			青森軍事局担当	勤料・終身禄
1397	桑田平左衛門		10俵			青森軍事局輻重方	勤料・終身禄
1398	大高伴次郎		7俵			各地探索方	勤料・終身禄
1399	斎藤定一		5俵		隠密方本役へ	各地探索方	勤料・終身禄
1400	三上忠藏		金2000疋			各地探索方	
1401	三上清太郎		10俵			東京詰合	勤料・終身禄
1402	松嶋孝太郎		10俵			東京詰合	勤料・終身禄
1403	伊東八郎太		10俵			各地周旋	勤料・終身禄
1404	山形修助		金5000疋			各地周旋	
1405	三上奥右衛門		金1000疋			清水谷孝公附伝達役	
1406	工藤健太郎		金1000疋			清水谷孝公附伝達役	
1407	工藤官七		金1000疋			清水谷孝公附伝達役	
1408	成田伝助		15俵			青森軍事局・函館戦争輻重方担当	勤料・終身禄
1409	工藤才之丞		10俵			函館戦争輻重方担当	永世禄
1410	木村庄藏		20俵			沢為量附	永世禄
1411	須藤新吉郎		10俵			小湊口・函館戦争輻重方	勤料・終身禄 俵啓太郎にかわり嘉賞
1412	斎藤常次郎		金1000疋			各地探索方	

1413	外崎九八郎		金1000疋			各地探索方	
1414	須藤助五郎		金1000疋			各地探索方	
1415	栗田平次郎		金1000疋			各地探索方	
1416	斎藤雄司		金1000疋			各地探索方	
1417	工藤源司		金1000疋			各地探索方	
1418	佐野駒三郎		金1000疋			各地探索方	
1419	白戸九十郎		金1000疋			各地探索方	
1420	寺田弁作		金2000疋			各地探索方	
1421	野呂長兵衛		金2000疋			各地探索方	
1422	阿保左源太		金1500疋			各地探索方	
1423	内藤吉郎太		金1500疋			官軍海軍參謀局附	
1424	中田伝蔵		金2000疋			官軍輻重方附	
1425	菊池元衛		金1000疋			輻重方	
1426	対馬熊三郎	一等銃隊司令士			一等銃隊へ	秋田表戦闘	
1427	前田吉郎	二等銃隊司令士			二等銃隊へ	秋田表戦闘	
1428	西館 融	家老	200両	脇差一刀		藩庁指導	
1429	山中逸郎	家老	200両	刀一口		藩庁指導	
1430	西館孤清	用人	250俵			京都留守居役・宗家近衛家と連絡	
1431	大道寺 族	家老		脇差一刀		藩庁指導・東京詰合	
1432	津軽 齊	家老		脇差一刀		藩庁指導・各地周旋	
1433	工藤淡遠	用人		三所物		藩庁指導・各地周旋	
1434	山野茂樹	勘定奉行	100両	短刀一口		藩庁指導・各地周旋	
1435	楠美大老	用人	100両	三所物		藩庁指導・各地周旋	
1436	佐藤清衛	勘定奉行	50俵			各地周旋・輻重総括	
1437	神 東太郎	用人	50俵			各地周旋・会計総括	
1438	小山 巴	勘定奉行	100両	二所物		各地周旋・会計総括	
1439	桜庭太次馬	勘定奉行	50両	二所物		各地周旋・会計総括	
1440	大道寺源之進		30俵			各地周旋・青森軍事局詰	永世祿
1441	今 栄六		15俵			会計方	永世祿
1442	野口謙吾		20俵			宿泊方手配	勤料・終身祿
1443	長尾又右衛門		20俵			各地周旋	勤料・終身祿
1444	毛内貞太郎		20俵			輻重総括	勤料・終身祿
1445	松野茂右衛門		50両			各地周旋	
1446	戸沢八十吉		金4000疋			東京・京都連絡役	
1447	成田孫六		金3000疋			各地周旋	
1448	山形平八		金4000疋			輻重方	
1449	楠美和民		50両			各地周旋	
1450	一町田大江		50両			各地周旋	
1451	藤田虎五郎		金1000疋	御紋御上下	御召	京都留守居・各地周旋	
1452	赤石礼次郎		金1000疋	御紋御上下	御召	京都留守居・各地周旋	
1453	樋口小三郎		50両			各地周旋	
1454	奈良庄左衛門		金5000疋			函館留守居役	
1455	池 源治		金4000疋			青森軍事局詰	
1456	工藤喜右衛門		金3000疋			農兵司令士	
1457	西館軍兵衛		金5000疋			清水谷孝公応接役	
1458	木村九郎右衛門		金3000疋			青森軍事局詰	
1459	館山融之進		30両			各地周旋	
1460	葛西才助		金4000疋			輻重方	
1461	本多庸一郎		金4000疋			青森軍事局詰	
1462	安藤友作		金5000疋			清水谷孝公応接役	
1463	飯田 翼		金5000疋			清水谷孝公応接役	
1464	一戸祐也		15俵			各地周旋	永世祿
1465	工藤峯次郎		10俵			各地周旋	永世祿
1466	成田慶助		10俵			東京詰合	勤料・終身祿
1467	大嶋吉弥		6俵			重臣へ附属	勤料・終身祿
1468	佐々木惣兵衛		5俵			各地探索	勤料・終身祿
1469	斎藤富吉		5俵			各地探索	勤料・終身祿
1470	長尾定八		3俵			各地探索	勤料・終身祿
1471	清野瀧弥		10俵		四等下准格へ	各地周旋	勤料・終身祿
1472	大和田権作		10俵			輻重方	永世祿
1473	猪股久吉		10俵			函館口輻重方	永世祿
1474	三橋茶作		10俵			蝦夷地寿都守備	永世祿
1475	中村ノ元弥		0.25両		掃除方次席へ	函館陣屋守備	勤料・終身祿
1476	下石川村ノ丑蔵		2人扶持				
1477	常海橋村ノ善吉		2人扶持				
1478	常海橋村ノ次右衛門		2人扶持				
1479	常海橋村ノ利助		2人扶持				
合計			716俵・1060.25 両・金82500疋・ 8人扶持				

<表9>副長・参軍・弾薬方・諸職人・雑兵医師等慰勞調へ(明治3年2月4日)

NO	氏名	役職	現米・金銭・扶持	昇進	主な軍功	備考
1480	白取 務	山崎主計隊附屬副役	30両		秋田出張	
1481	松浦吉郎右衛門	山崎主計隊附屬	25両		秋田出張	
1482	野呂源太	山崎主計隊附屬	25両		秋田出張	
1483	本多東作	山崎主計隊附屬	15両		秋田出張	
1484	伊藤平太郎	山崎主計隊附屬	金1500疋		秋田出張	
1485	横嶋彦八	山崎主計隊附屬	金2000疋		秋田水沢口出張	
1486	佐田大之丞	参軍	金2000疋		青森口出張	
1487	長尾忠之進	記載なし	15両		碓ヶ関口出張	
1488	吉沢勇馬	記載なし	金2000疋		青森口出張	
1489	長尾勘一郎	参軍助役	5両		青森口出張	
1490	唐牛九右衛門	旗手長	金700疋		秋田水沢口出張	
1491	福士幸之助	鼓手	3両		秋田水沢口・函館戦争出張	
1492	葛西敏作	手塚部平隊隊員	金1000疋		野辺地戦争で奮戦	
1493	都谷森勇次郎	神豊三郎隊隊員	金1000疋		秋田水沢口・函館戦争出張	
1494	相馬助太郎	記載なし	金700疋		秋田出張	
1495	福士龍藏	輜重方	金700疋		函館戦争出張	
1496	武田慶司	器械方	金700疋		秋田水沢口出張	
1497	江利山慶次郎	隠密方	金700疋		秋田水沢口出張	
1498	小山内末吉	隠密方	金700疋		秋田水沢口出張	
1499	兼平又三郎	一等銃卒嚮導	2両		函館戦争出張	
1500	山澄角弥	一等銃卒	2両		函館戦争出張	
1501	小山内喜藏	一等銃卒	2両		函館戦争出張	
1502	竹内勇馬	一等銃卒	1両		青森口出張	
1503	三浦銀吾	弾薬才料方・一等銃卒	30両		函館戦争出張	
1504	高屋五三郎	弾薬才料方・一等銃卒	30両		函館戦争出張	
1505	船水堅吉	弾薬才料方・一等銃卒	30両		函館戦争出張	
1506	中田長七	弾薬才料方・一等銃卒	30両		函館戦争出張	
1507	山川三次郎	弾薬才料方・一等銃卒	30両		野辺地出張	
1508	西村勇吉	弾薬才料方・一等銃卒	30両		野辺地出張	
1509	河合龜弥	弾薬才料方・二等銃卒	30両		野辺地出張	
1510	宮川元五郎	弾薬才料方・三等銃卒	30両		松前・函館戦争出張	
1511	小田桐末吉	弾薬才料方・三等銃卒	30両		函館戦争出張	
1512	杉本忠吉	弾薬才料方・三等銃卒	30両		函館戦争出張	
1513	木村文吾	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1514	宮館寅八	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1515	大湯平八	弾薬才料方・一等銃卒	10両		秋田出張	
1516	木村久太郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		松前出張	
1517	原田与一郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		大館出張	
1518	金沢岩藏	弾薬才料方・一等銃卒	10両		大館出張	
1519	鎌田忠吉	弾薬才料方・一等銃卒	10両		野辺地出張	
1520	山崎宗五郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1521	佐野巳五郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		野辺地出張	
1522	三浦文吾	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1523	阿保治三郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		大館出張	
1524	嘉瀬元吉	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1525	伊藤与五郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		秋田矢島口出張	
1526	佐藤孝三郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		松前出張	
1527	佐藤銀弥	弾薬才料方・一等銃卒	10両		松前出張	
1528	土田熊吉	弾薬才料方・二等銃卒	10両		松前出張	
1529	中村忠太郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1530	寺田末太郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1531	清野佐次右衛門	弾薬才料方・二等銃卒	10両		秋田出張	
1532	佐川鉄五郎	弾薬才料方・三等銃卒	10両		函館戦争出張	
1533	山屋乙三郎	弾薬才料方・三等銃卒	10両		函館戦争出張	
1534	田中泰太郎	弾薬才料方・三等銃卒	10両		野辺地出張	
1535	佐藤常太郎	弾薬才料方・三等銃卒	10両		松前出張	
1536	福士甚助	弾薬才料方・三等銃卒	10両		松前出張	
1537	成田方弥	弾薬才料方・三等銃卒	10両		函館戦争出張	
1538	桜庭忠作	弾薬才料方・三等銃卒	10両		函館戦争出張	
1539	佐藤豊作	弾薬才料方・三等銃卒	10両		秋田水沢口出張	
1540	熊谷楠藏	弾薬才料方・三等銃卒	10両		函館戦争出張	
1541	藤田嘉四郎	弾薬才料方・二等銃卒	10両		秋田水沢口出張	
1542	坂本源藏	弾薬才料方・一等銃卒嚮導	10両		函館戦争出張	
1543	小船右門吉	弾薬才料方・二等銃卒	10両		函館戦争出張	
1544	葛西弥十郎	弾薬才料方・二等銃卒	10両		野辺地・函館戦争出張	
1545	間山重五郎	弾薬才料方・三等銃卒	10両		野辺地・函館戦争出張	
1546	鎌田助四郎	弾薬才料方・一等銃卒	10両		函館戦争出張	
1547	荒川儀八郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田水沢口出張	
1548	田中松太郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田水沢口出張	
1549	千葉勝弥	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	
1550	金沢平三郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	
1551	赤石左一郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田水沢口出張	
1552	早川丈吉郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	
1553	古川栄野助	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	
1554	高坂平吉	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田水沢口出張	
1555	大瀬彦吉	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田矢島口出張	
1556	須賀嘉一	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田水沢口出張	
1557	川村富五郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	
1558	三浦市弥	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	

1559	寺田四郎吉	弾薬才料方・一等銃卒	7両		函館戦争出張	
1560	三上多助	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田水沢口出張	
1561	鈴木虎松	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田矢島口出張	
1562	桑田岩三郎	弾薬才料方・一等銃卒	7両		秋田矢島口出張	
1563	鹿内忠八	弾薬才料方・三等銃卒	7両		野辺地出張	
1564	太田与吉	弾薬才料方・一等銃卒	金300疋		函館戦争出張	
1565	三浦長兵衛	弾薬才料方・三等銃卒	金300疋		函館戦争出張	
1566	相馬熊七	弾薬才料方・三等銃卒	金300疋		函館戦争出張	
1567	葛西茂次郎	弾薬才料方・三等銃卒	金300疋		函館戦争出張	
1568	小山内豊次郎	弾薬才料方・三等銃卒	金300疋		函館戦争出張	
1569	笹森新七	弾薬才料方・一等銃卒 <small>嚮導</small>	2.5両		野辺地出張	
1570	佐々木蕃七	弾薬才料方・一等銃卒	2.5両		野辺地出張	
1571	対馬安吉	器械方	10両		野辺地・函館戦争出張	
1572	古川吉五郎	器械方	15両		早瀬野口・秋田出張	
1573	尾崎寅吉	器械方・一等銃卒	不明	以下予備隊へ	函館戦争出張	
1574	榎方鉄太郎	器械方	2人扶持	三等銃卒へ	野辺地・函館戦争出張	鉄太郎は一等銃卒蔵次郎の子
1575	唐牛由太郎	器械方・三等銃卒	4俵7升		函館戦争出張	
1576	斎藤惣三	器械方・三等銃卒	4俵7升		函館戦争出張	
1577	塩谷新兵衛	器械方・三等銃卒		二等銃卒へ	函館戦争出張	
1578	葛西桃吉	器械方	2人扶持	廻掃除方へ	函館戦争出張	桃吉は一等銃卒
1579	下石川村ノ永吉	記載なし	2人扶持	廻掃除方へ	函館戦争で負傷兵介抱	勘次郎二男
1580	梨田久吉		2人扶持	廻掃除方へ	函館戦争で敵兵を捕らえる	久吉は屋根善小頭清十郎の子
1581	外瀬村ノ多七郎	掃除方		掃除緒方次席へ	函館戦争で運送に活躍	
1582	多六	雇人		廻掃除方へ	函館戦争で運送に活躍	
1583	才兵衛	廻掃除方		本掃除方へ	函館戦争出張	
1584	喜佐衛門	嫡子小人		三等銃卒へ	函館戦争で執銃駕戦	
1585	兼吉	掃除方	銭10貫文		函館戦争で執銃駕戦	
1586	常盤坂村ノ乙吉		銭10貫文		函館戦争で執銃駕戦	
1587	蔵吉	薩摩薩貸夫		雇掃除方へ	函館戦争出張	蔵吉は新岡村長三郎の子
1588	蒔苗松蔵	駕締方	銭5.5貫文		各地出張	
1589	小林甚内	駕締方	銭5.5貫文		"	
1590	外崎谷九郎	駕締方	銭5.5貫文		"	
1591	孫十郎	駕之者	銭5貫文		"	
1592	惣右衛門	駕之者	銭5貫文		"	
1593	嘉兵衛	駕之者	銭5貫文		"	
1594	東吉	駕之者	銭5貫文		"	
1595	三次郎	駕之者	銭5貫文		"	
1596	演七	駕之者	銭5貫文		"	
1597	貞太郎	駕之者	銭5貫文		"	
1598	幸吉	駕之者	銭5貫文		"	
1599	丑蔵	駕之者	銭5貫文		"	
1600	三八	駕之者	銭5貫文		"	
1601	万吉	駕之者	銭5貫文		"	
1602	権太郎	駕之者	銭5貫文		"	
1603	丈八	駕之者	銭5貫文		"	
1604	磯八	駕之者	銭5貫文		"	
1605	兼四郎	駕之者	銭5貫文		"	
1606	万太郎	駕之者	銭5貫文		"	
1607	太郎吉	駕之者	銭5貫文		"	
1608	太次郎	駕之者	銭5貫文		"	
1609	竜蔵	駕之者	銭5貫文		"	
1610	嘉次郎	駕之者	銭5貫文		"	
1611	定右衛門	駕之者	銭5貫文		"	
1612	仲蔵	駕之者	銭5貫文		"	
1613	鶴蔵	駕之者	銭5貫文		"	
1614	治三郎	駕之者	銭5貫文		"	
1615	茂次郎	駕之者	銭5貫文		"	
1616	熊五郎	駕之者	銭5貫文		"	
1617	今之助	駕之者	銭5貫文		"	
1618	卯之吉	駕之者	銭5貫文		"	
1619	善助	駕之者	銭7貫文		"	
1620	高屋金次	輻重方附・三等銃卒	銭5貫文		函館戦争	
1621	三上清三郎	輻重方附・三等銃卒	銭5貫文		"	
1622	岩谷孫十郎	輻重方附・三等銃卒	銭5貫文		"	
1623	橋本彦六	輻重方附・三等銃卒	銭5貫文		"	
1624	神 永吉郎	輻重方附・三等銃卒	銭5貫文		"	
1625	竹内吾之助	書記手人・三等銃卒	銭5貫文		"	
1626	工藤古之助	輻重司手人・三等銃卒次席	銭5貫文		"	
1627	成田龍次郎	野辺地病院懸下役・三等銃卒	銭5貫文		野辺地戦争	
1628	宮川朝五郎	野辺地病院懸下役・三等銃卒	銭5貫文		野辺地戦争	
1629	蓬田村ノ斎藤繁八	野辺地病院懸下役・三等銃卒	銭5貫文		野辺地戦争	
1630	鎌田末吉	軍監手人	銭5貫文		各地出張	
1631	木村安五郎	記載なし	銭5貫文		不明	
1632	小山熊三郎	二等銃卒隊外・軍務局小使	銭5貫文		函館戦争	
1633	広田村ノ覚蔵	郷夫	銭5貫文		秋田水沢口出張	
1634	川村ノ盛三郎	"	銭5貫文		"	
1635	大巻村ノ常右衛門	"	銭5貫文		"	
1636	丸山村ノ良太郎	"	銭5貫文		"	
1637	孫次郎	御持鍵仲間	銭5貫文		"	
1638	笹館村ノ富三郎	"	銭5貫文		"	

1639	荒川村ノ源太	〃	銭5貫文		
1640	川村ノ多三郎	〃	銭5貫文		
1641	土手町ノ孫五郎	〃	銭5貫文		
1642	新岡村ノ吾作	〃	銭5貫文		
1643	荒町ノ三藏	〃	銭5貫文		
1644	駒越村ノ福士郎	〃	銭5貫文		
1645	下土手町ノ金八	〃	銭5貫文		
1646	報恩寺門前ノ齋次郎	〃	銭5貫文		
1647	土手町ノ權八	〃	銭5貫文		
1648	川村ノ權吉	〃	銭5貫文		
1649	平岡町ノ常八	〃	銭5貫文		
1650	川村ノ柿三郎	〃	銭5貫文		
1651	茂森町ノ惣右衛門	〃	銭5貫文		
1652	新町ノ松弥	〃	銭5貫文		
1653	向外瀬村ノ幸八	〃	銭5貫文		
1654	昏橋村ノ丈次郎	〃	銭5貫文		
1655	板ヶ野木村ノ九八郎	〃	銭5貫文		
1656	外瀬村ノ久之助	〃	銭5貫文		
1657	桶ヶ町ノ八之助	〃	銭5貫文		
1658	富田町ノ銀次郎	〃	銭5貫文		
1659	向外瀬村ノ長三郎	〃	銭5貫文		
1660	富田村ノ金次郎	〃	銭5貫文		
1661	川村ノ藤兵衛	〃	銭5貫文		
1662	高杉村ノ千代吉	〃	銭5貫文		
1663	取上村ノ藏八郎	〃	銭5貫文		
1664	御藏町ノ茂吉	〃	銭5貫文		
1665	草秀寺門前ノ巳之松	〃	銭5貫文		
1666	北横町ノ源六	〃	銭5貫文		
1667	堅田村ノ寅一	〃	銭5貫文		
1668	藤代村ノ謙八	〃	銭5貫文		
1669	和徳村ノ才五郎	〃	銭5貫文		
1670	苔木村ノ辰五郎	〃	銭5貫文		
1671	水木村ノ善吉	〃	銭5貫文		
1672	五舟平村ノ九郎	〃	銭5貫文		
1673	賀田村ノ徳太郎	〃	銭5貫文		
1674	樋口村ノ三九郎	〃	銭5貫文		
1675	中村ノ定三郎	〃	銭5貫文		
1676	高ヶ村ノ兼九郎	〃	銭5貫文		
1677	南横町ノ与惣八	〃	銭5貫文		
1678	高杉村ノ元次郎	〃	銭5貫文		
1679	一番町ノ福右衛門	〃	銭5貫文		
1680	丸山村ノ良太郎	〃	銭5貫文		
1681	中村ノ与惣吉	〃	銭5貫文		
1682	中村ノ宇太郎	〃	銭5貫文		
1683	樺牛子村ノ由兵衛	郷夫	銭5貫文		松前出張
1684	清水森村ノ久八	〃	銭5貫文		
1685	富田村ノ松四郎	〃	銭5貫文		
1686	鼻輪村ノ寅八	〃	銭5貫文		
1687	本町ノ春吉	〃	銭5貫文		
1688	銅ヶ町ノ勇吉	〃	銭5貫文		
1689	中村ノ乙吉	〃	銭5貫文		
1690	清野袋村ノ太右衛門	〃	銭5貫文		
1691	西太工町ノ忠吾	〃	銭5貫文		
1692	石渡村ノ權八	〃	銭5貫文		
1693	高杉村ノ外吉	〃	銭5貫文		
1694	中村ノ其吉	〃	銭5貫文		
1695	大沢村ノ源左衛門	〃	銭5貫文		
1696	田中村ノ万藏	〃	銭5貫文		
1697	小沢村ノ弥六郎	〃	銭5貫文		
1698	悪戸村ノ藏吉	〃	銭5貫文		
1699	富田村ノ卯右衛門	〃	銭5貫文		
1700	境岡村ノ嘉六	〃	銭5貫文		
1701	藤代村ノ藏一	〃	銭5貫文		
1702	今泉村ノ由之丞	〃	銭5貫文		
1703	中村ノ繁五郎	〃	銭5貫文		
1704	外瀬村ノ善七	〃	銭5貫文		
1705	一町田村ノ石太郎	〃	銭5貫文		
1706	龜甲町ノ松藏	〃	銭5貫文		
1707	小栗山村ノ藤十郎	〃	銭5貫文		
1708	若松村ノ常太郎	〃	銭5貫文		
1709	外瀬村ノ丑藏	〃	銭5貫文		
1710	藤代村ノ万三郎	〃	銭5貫文		
1711	岩船村ノ藤九郎	〃	銭5貫文		
1712	本町ノ要助	〃	銭5貫文		
1713	本町ノ友吉	〃	銭5貫文		
1714	本町ノ末吉	〃	銭5貫文		
1715	本町ノ市五郎	〃	銭5貫文		
1716	本町ノ佐之	〃	銭5貫文		
1717	茂森町ノ元吉	〃	銭5貫文		
1718	茂森町ノ源藏	〃	銭5貫文		
1719	茂森町ノ初太郎	〃	銭5貫文		
1720	茂森町ノ源次郎	〃	銭5貫文		
1721	茂森町ノ寅吉	〃	銭5貫文		

1722	町田村ノ西蔵	郷夫	銭5貫文		松前出張
1723	大巻村ノ春蔵	"	銭5貫文		"
1724	尾上村ノ鉄之助	"	銭5貫文		"
1725	茂森町ノ亀吉	"	銭5貫文		"
1726	和徳村ノ文之助	"	銭5貫文		"
1727	新山村ノ武作	"	銭5貫文		"
1728	川村ノ栄次郎	"	銭5貫文		"
1729	元大工町ノ忠助	"	銭5貫文		"
1730	常盤坂村ノ元三郎	"	銭5貫文		"
1731	東光寺村ノ勇吉	"	銭5貫文		"
1732	荒町ノ春弥	"	銭5貫文		"
1733	中村ノ宇吉	"	銭5貫文		"
1734	向外瀬村ノ(氏名欠)	"	銭5貫文		"
1735	樋口村ノ慶太郎	"	銭5貫文		"
1736	小栗山村ノ松之丞	"	銭5貫文		"
1737	藤代村ノ市太郎	"	銭5貫文		"
1738	中村ノ久米四郎	"	銭5貫文		"
1739	柏木村ノ伊助	"	銭5貫文		"
1740	悪戸村ノ駒五郎	"	銭5貫文		"
1741	和徳村ノ才六	"	銭5貫文		"
1742	堅田村ノ惣四郎	"	銭5貫文		"
1743	大依村ノ銀吾	"	銭5貫文		"
1744	和徳村ノ茂太郎	"	銭5貫文		"
1745	土手町ノ勘九郎	"	銭5貫文		"
1746	鍛冶町ノ万吉	"	銭5貫文		"
1747	鍛冶町ノ直吉	"	銭5貫文		"
1748	親方町ノ富次郎	"	銭5貫文		"
1749	茂森町ノ丈吉	"	銭5貫文		"
1750	東長町ノ孫八	"	銭5貫文		"
1751	新町ノ鉄太郎	"	銭5貫文		"
1752	新町ノ豊吉	"	銭5貫文		"
1753	亀甲町ノ伝吉	"	銭5貫文		"
1754	紺衣町ノ由吉	"	銭5貫文		"
1755	土手町ノ勇助	"	銭5貫文		"
1756	橋町ノ久吉	"	銭5貫文		"
1757	富田町ノ定吉	"	銭5貫文		"
1758	本町ノ万次郎	"	銭5貫文		"
1759	本町ノ文蔵	"	銭5貫文		"
1760	茂森町ノ安太郎	"	銭5貫文		"
1761	東長町ノ孫太郎	"	銭5貫文		"
1762	新町ノ定次郎	"	銭5貫文		"
1763	新町ノ長兵衛	"	銭5貫文		"
1764	和徳町ノ与吉	"	銭5貫文		"
1765	山田村ノ富太郎	"、郡所小使	銭5貫文		"
1766	荒町ノ半十郎	郷夫	銭5貫文		秋田出張
1767	長峯村ノ瀬之	"	銭5貫文		松前出張
1768	新衣村ノ新兵衛	"	銭5貫文		"
1769	取上村ノ長左衛門	"	銭5貫文		"
1770	碓ヶ間村ノ松左衛門	"	銭7貫文		出張先記載なし
1771	本町ノ重吉	"	銭6貫文		"
1772	茂森町ノ権五郎	"	銭6貫文		"
1773	下福原村ノ多七	"	銭6貫文		"
1774	龍蔵	鉄砲師	銭7貫文		出張先記載なし
1775	二唐多三郎	"	銭7貫文		"
1776	兼吉	"	銭7貫文		"
1777	二唐松右衛門	"	銭7貫文		"
1778	前田又三郎	研師	銭7貫文		"
1779	田村喜之助	"	銭7貫文		"
1780	藤田武治	"	銭7貫文		"
1781	二唐末吉	"	銭7貫文		"
1782	二唐寅次郎	"	銭7貫文		"
1783	高山元吉	大工・三等銃卒次席	銭7貫文		"
1784	福岡茂三郎	"	銭7貫文		"
1785	高坂春吉	"	銭7貫文		"
1786	忠吉	鉄砲師二唐多三郎弟子	銭5貫文		"
1787	義助	長谷川梅吉弟子	銭5貫文		"
1788	仁三郎	鉄砲師兼吉弟子	銭5貫文		"
1789	忠吉	鉄砲師二唐松右衛門弟子	銭5貫文		"
1790	末太郎	鉄砲師田村喜之助弟子	銭5貫文		"
1791	善次郎	鉄砲師藤田武治弟子	銭5貫文		"
1792	九吉	鉄砲師二唐寅次郎弟子	銭5貫文		"
1793	鍛冶町ノ勇助	町兵	銭5貫文		野辺地出張
1794	紺衣町ノ才兵衛	"	銭5貫文		"
1795	土手町ノ春吉	"	銭5貫文		"
1796	土手町ノ清次郎	"	銭5貫文		"
1797	亀甲町ノ重吉	"	銭5貫文		"
1798	亀甲町ノ万次郎	"	銭5貫文		"
1799	亀甲町ノ利三郎	"	銭5貫文		"
1800	亀甲町ノ市太郎	"	銭5貫文		"
1801	鍛冶町ノ直吉	"	銭5貫文		"
1802	鍛冶町ノ直吉	"	銭5貫文		"
1803	鍛冶町ノ吉之助	"	銭5貫文		"
1804	鍛冶町ノ喜代吉	"	銭5貫文		"

1805	殿治町ノ多吉	〃	銭5貫文		〃	
1806	殿治町ノ与吉	〃	銭5貫文		〃	
1807	荒町ノ寅次郎	〃	銭5貫文		〃	
1808	荒町ノ久米藏	〃	銭5貫文		〃	
1809	荒町ノ八太郎	〃	銭5貫文		〃	
1810	荒町ノ鶴藏	〃	銭5貫文		〃	
1811	荒町ノ政吉	〃	銭5貫文		〃	
1812	荒町ノ忠兵衛	〃	銭5貫文		〃	
1813	紺屋町ノ熊三郎	〃	銭5貫文		〃	
1814	紺屋町ノ熊三郎	〃	銭5貫文		〃	原文のまま
1815	紺屋町ノ金太郎	〃	銭5貫文		〃	
1816	紺屋町ノ五三郎	〃	銭5貫文		〃	
1817	親方町ノ松助	〃	銭5貫文		〃	
1818	親方町ノ蔵吉	〃	銭5貫文		〃	
1819	本町ノ豊次郎	〃	銭5貫文		〃	
1820	本町ノ万次郎	〃	銭5貫文		〃	
1821	本町ノ直吉	〃	銭5貫文		〃	
1822	土手町ノ松太郎	〃	銭5貫文		〃	
1823	孝太郎	町兵・前田源次郎手人	銭15貫文			函館戦争で格別精勤
1824	富田村ノ勇吉	会計局小使		三等銃卒次席へ	函館戦争で乗船取扱方精勤	
1825	中村ノ勇藏	掃除方役割	0.25両	掃除絛方次席へ	清水谷殿渡海御供	勤料増し
1826	坂本村ノ孫右衛門	雇小人	1両・2人扶持	掃除方へ	醍醐殿下向御供	勤料増し
1827	富田村ノ又吉	貸人・会計局小使	0.75両		〃	勤料増し
1828	時苗村ノ豊吉	貸人・会計局小使常加勢	0.75両		〃	勤料増し
1829	新田村ノ八郎	貸人・会計局小使	0.5両		秋田出張	勤料増し
1830	小嶋村ノ定七	貸人・会計局小使常加勢	0.5両		〃	勤料増し
1831	川村ノ永次郎	貸人・掃除方	銀60匁		〃	勤料増し
1832	川村ノ藤兵衛	貸人・雇掃除方	銀60匁		〃	勤料増し
1833	川村ノ千代太郎	貸人・掃除絛方加勢	0.75両		〃	勤料増し
1834	船水村ノ市五郎	貸人・雇掃除方	0.25両		〃	勤料増し
1835	中村ノ伝八郎	貸人・会計局小人	0.25両		〃	勤料増し
1836	兼平村ノ辰三郎	貸人・掃除方		掃除絛方次席へ	〃	
1837	萱町ノ象右衛門	貸人・雇掃除方	銀60匁		〃	勤料増し
1838	村市村ノ田慶	氣師	2.5両		大館陥落の際臨時砲隊入り	
1839	添原村ノ彦左衛門	氣師	2.5両		〃	
1840	碓ヶ関ノ大助	氣師	2.5両		〃	
1841	三ヶ月内村ノ寅之助	氣師	2.5両		〃	
1842	柳久保村ノ長四郎	氣師	2.5両		〃	
1843	種里村ノ大次郎	氣師	2.5両		〃	
1844	相市村ノ卯之助	氣師	2.5両		〃	
1845	長峯村ノ金次郎	氣師	2.5両		〃	
1846	樋口条作	記載なし		一等銃隊へ	数年来刀術出精	
1847	山崎忠慶	医師	10両		青森で治療方精勤	
1848	伊東春庵	〃	10俵		新庄・碓ヶ関で治療方精勤	
1849	小嶋元民	〃	10俵		秋田・青森で治療	
1850	小野直庵	〃	10俵		秋田矢島口出張	
1851	三上道春	〃	10俵		青森で治療	
1852	松井英壽	〃	7俵		秋田矢島口出張	
1853	佐々木元享	〃	15両		各地出張、治療方精勤	
1854	唐半昌運	〃	5両		〃	
1855	矢野玄栄	〃	5両		〃	
1856	菊池玄格	〃	5両		〃	
1857	松本宗周	〃	5両		〃	
1858	浅越玄隆	〃	5両		〃	
1859	広瀬義益	〃	5両		〃	
1860	北岡有格	〃	3両		〃	
1861	嶋 広山	〃	3両		〃	
1862	佐々木元端	〃	3両		〃	
1863	樋口道仙	〃	3両		〃	
1864	中村春台	〃	3両		〃	
1865	桐山正哲	〃	5両		〃	
1866	松野祐栄	〃	3両		〃	
1867	古郡道一	〃	7両		〃	
1868	三上耕雲	並医師	5両		函館戦争出張	
1869	岩谷三英	町医	7両		〃	
1870	小嶋岱潤	医師小嶋元民伴	3両		〃	
1871	南了庵	町医	3両		〃	
1872	松本良益	町医吉村方榮召連	金300疋		各地出張、治療方精勤	
1873	松井弘伯	三上道春弟子	金300疋		〃	
1874	成田了斎	佐々木元彦弟子	金300疋		〃	
1875	小山内良栄	広瀬良益弟子	金300疋		〃	
1876	豊嶋方達	小野直庵召連	金300疋		〃	
1877	山崎大同	小野直庵召連	金300疋		〃	
1878	鳴海省行	松本宗周召連	金300疋		〃	
1879	木村道有	小庵在医	金300疋		〃	
1880	高橋民昌	伊東春庵弟子	金300疋		〃	
1881	安藤孝哉	佐々木元享召連	金300疋		〃	
1882	本間宗俊	木島元民弟子	金300疋		〃	
合計			55俵1斗4升・1042両・ 金18500疋・銭1242.5 貫文・10人扶持・銀180 匁			

<表10>明治3年6月1日賞典・慰勞調

NO	氏名	役職	金銭	昇進	主な戦功	備考
1883	成田五十徳		50両		醍醐殿へ附属、各地奔走	五十種は予備銃隊源次郎三男
1884	三浦才助		50両		"	才助は筆生忠太郎弟
1885	丸瀬格之進	勘定小頭	金500疋		秋田出張	
1886	大嶋栄作	筆生	金500疋		"	
1887	乳井篤一	勘定人	金500疋		"	
1888	原 孫吉	勘定人	金500疋		"	
1889	木村新助	作事受払役	金500疋		"	
1890	長尾東一	御徒目付	金500疋		"	
1891	木村岩五郎	附属士	金500疋		"	
1892	奈良忠作	御武具蔵下取扱	銭10貫文		"	
1893	福土百太郎	御武具蔵下取扱手代	銭10貫文		"	
1894	笹森悠三郎	二等銃隊	2両		各所奔走	
1895	野沢得弥	初等准格砲術属事	10両		弾薬吟味方精勤	
1896	木村径一	初等准格砲術属事	10両		"	
1897	羽賀要吉	御先供方	金1000疋		秋田出張	
1898	岩川喜兵衛	御先供方	金1000疋		"	
1899	鳴海門弥	三等銃隊隊外	金700疋		函館矢島口出張	
1900	河野六郎	側用人	金700疋		青森出張	
1901	喜多村源八	側詰	金500疋		"	
1902	津軽 薫	側詰	金500疋		"	
1903	津軽篤雄	側詰	金500疋		"	
1904	梨田左源司	側役	金300疋		"	
1905	徳永百世	側役	金300疋		"	
1906	大谷津三内	近習小姓	金300疋		"	
1907	柏原新吉郎	近習小姓	金300疋		"	
1908	樺野仙太郎	近習小姓	金300疋		"	
1909	筑井猛彦	近習小姓	金300疋		"	
1910	皆川周作	近習小姓・納戸役	金300疋		"	
1911	藤田喜三郎	近習小姓	金300疋		"	
1912	嶋田友吉	近習小姓	金300疋		"	
1913	生駒甚八郎	右筆	金250疋		"	
1914	鈴木良作	右筆	金200疋		"	
1915	傍嶋吉之進	記載なし	金350疋		"	
1916	成田勘兵衛	記載なし	金350疋		"	
1917	大石鉄太郎	記載なし	金350疋		"	
1918	建部 登	御側役	金350疋		"	
1919	山中衛次郎	二等銃隊	金250疋		重役に附属して小湊出張	
1920	渋谷内之丞	三等銃隊隊外	金200疋		"	
1921	小山内健三郎	三等銃隊隊外筆生手伝	金200疋		"	
1922	八反田喜平司		金200疋		"	喜平司は關之助(役職不明)の親
1923	黒滝幸蔵	予備銃隊	金200疋		羽州漆山出張	
1924	鳴滝龍太郎	筆生	金200疋		綻ヶ関出張	
1925	黒滝彦助	学校二教	金200疋		重役に附属して各所出張	
1926	平川喜助	市井見聞方	金200疋		職務多端	
1927	藤林銀作	二等銃隊	金250疋		京都詰合	
1928	工藤福次郎	一等銃隊	金250疋		"	
1929	笹森徳之助	一等銃隊	金250疋		"	
1930	乙部九郎太	斥候隊	金200疋		深浦出張	
1931	花田栄太郎	斥候隊	金200疋		"	
1932	神 省吾	斥候隊	金200疋		"	
1933	中九又蔵	斥候隊	金200疋		"	
1934	太田兵之助	一等銃隊	金250疋		一野渡間道御固出張	
1935	間山菊弥	二等銃隊	金250疋		石倉越間道御固出張	
1936	菊地禮吉	二等銃隊	金250疋		"	
1937	一戸徳之進	二等銃隊	金250疋		"	
1938	花田亥三郎	二等銃隊	金250疋		大間越間道御固出張	
1939	成田道一	二等銃隊	金250疋		松前出張	
1940	田中平太郎	札幌方役免	金200疋		"	
1941	須藤章作		金200疋		"	原作は予備隊一親
1942	三上文次郎	札幌方	金200疋		"	
1943	桜庭寅之進	札幌方	金200疋		青森出張	
1944	石郷岡綱吉	札幌方	金200疋		"	
1945	工藤五左衛門	札幌方	金200疋		"	
1946	今 清太郎	札幌方	金200疋		"	
1947	成田権作	札幌方	金200疋		"	
1948	対馬音作	札幌方	金200疋		綻ヶ沢出張	
1949	佐々木鉄太郎	札幌方	金200疋		大間越出張	
1950	三上文次郎	札幌方	金200疋		綻ヶ関出張	
1951	工藤寅之助	札幌方	金200疋		"	
1952	外崎謙一	札幌方	金200疋		深浦出張	
1953	一戸八十八	札幌方	金200疋		"	
1954	鎌田斧吉	札幌方	金200疋		青森出張	
1955	秋西市郎	札幌方	金200疋		東海岸出張	
1956	森 祐之進	札幌方	金200疋		"	
1957	三上虎平太	札幌方	金200疋		十三出張	

1958	成田甚左衛門	札察方	金200疋	碓ヶ関出張	
1959	小野岩吉	札察方	金200疋	油川出張	
1960	葛西勇吉	札察方	金200疋	"	
1961	船水鉄蔵	札察方役免	金200疋	青森出張	
1962	小野万弥	札察方役免	金200疋	"	
1963	三上亀太郎	札察方役免	金200疋	油川・平館出張	
1964	豊島吉太郎	以下予備隊	銭3貫文	青森出張	
1965	吉岡文弥	生産勘算方次席	銭3貫文	"	
1966	鈴木穰馬	記載なし	銭3貫文	"	
1967	八木橋元太郎	記載なし	銭3貫文	"	
1968	石沢治右衛門	記載なし	銭3貫文	東海岸出張	
1969	葛西龍之助	記載なし	銭3貫文	碓ヶ関出張	
1970	蝦名要吉	会計局風事	金200疋	青森出張	
1971	白沢良司	三等銃隊隊外	金200疋	碓ヶ関出張	
1972	寺嶋直之進	記載なし	金200疋	"	
1973	三橋孫吉	記載なし	金200疋	"	
1974	森内左兵衛	記載なし	金200疋	"	
1975	工藤甚助	三等銃隊	金200疋	青森出張	
1976	一戸金左衛門	記載なし	金200疋	"	
1977	石岡理兵衛	記載なし	金200疋	大間越出張	
1978	中村善作	記載なし	金200疋	深浦出張	
1979	田村源蔵	記載なし	金200疋	小湊・蟹田出張	
1980	宮本甚八	記載なし	金200疋	"	
1981	斎藤平吉	記載なし	金200疋	小湊出張	
1982	今 広之助	記載なし	金200疋	油川出張	
1983	川村亀吉	西浦風事次席	金200疋	小湊出張	
1984	相馬伝次	記載なし	金200疋	"	
1985	笹森清八郎	营造方風事次席	金200疋	青森出張	
1986	飛鳥善吉	初等准格	金200疋	碓ヶ関出張	
1987	工藤辰弥	以下予備隊	金200疋	赤石出張	
1988	外崎忠三郎		金200疋	青森出張	忠三郎は省三郎(役職不明)親
1989	成田文右衛門	郡民事局風事	金200疋	唐竹出張	
1990	石郷岡小一郎	郡民事局筆生	金200疋	大間越出張	
1991	棟方雄之助	会計局筆生	金200疋	青森出張	
1992	百田貫一	記載なし	金200疋	"	
1993	谷口熊蔵	記載なし	金200疋	小泊出張	
1994	蝦名沢五郎	初等准格	金200疋	唐竹出張	
1995	伊藤清作	記載なし	金200疋	薄市出張	
1996	斎藤宇吉	营造方風事	金200疋	輪重方	
1997	大内忠之進	筆生	金200疋	武庫方	
1998	高屋五郎吉	初等准格	金200疋	武庫方・器械方	
1999	羽賀新吉	筆生	金200疋	"	
2000	武田弥次郎	筆生	金200疋	"	
2001	中田俊次郎	記載なし	金200疋	青森出張	
2002	青沼鶴吉	記載なし	金200疋	"	
2003	小川恭嘉	記載なし	金200疋	"	
2004	小友玄里	記載なし	金200疋	"	
2005	小館全得	記載なし	金200疋	"	
2006	近藤祐斎	記載なし	金200疋	"	
2007	福士水策	記載なし	金200疋	"	
2008	三浦兵次郎	記載なし	金200疋	"	
2009	長利要作	記載なし	金200疋	"	
2010	鯨山良吉	記載なし	金200疋	"	
2011	三上源太	三等銃隊	金200疋	"	
2012	大井門次郎	筆生次席	金200疋	"	
2013	松嶋源十郎	記載なし	金200疋	"	
2014	斎藤源太	記載なし	金200疋	各所出張	
2015	小野力弥	記載なし	金200疋	"	
2016	土岐愛太郎	記載なし	金200疋	"	
2017	工藤清助	記載なし	金200疋	"	
2018	山崎文蔵	記載なし	金200疋	"	
2019	葛西藤太	記載なし	金200疋	"	
2020	和田徳太郎	記載なし	金200疋	"	
2021	菊地経之助	予備銃隊	金200疋	"	
2022	成田八百橋	予備銃隊	金200疋	"	
2023	斎藤吉弥	予備銃隊	金200疋	"	
2024	詩苗文之助	予備銃隊	金200疋	"	
2025	成田鉄之助	予備銃隊	金200疋	"	
2026	福士寛五郎		金200疋	"	寛五郎は三等銃隊幸之助親
2027	八木橋金蔵	札察方	金200疋	青森出張	
2028	藤林礼作	記載なし	金200疋	"	
2029	幸田篤之助	記載なし	金250疋	早瀬野間道出張	
2030	青森大町ノ西松	水夫	銭20貫文	函館戦争嚮導	
2031	安方町ノ福松	水夫	銭20貫文	函館戦争水夫上締	
2032	虹貝町ノ平吉	水夫	銭20貫文	"	
2033	今別町ノ礼治	水夫	銭20貫文	"	
2034	越後屋左右衛門	深浦町名主	銭3貫文	一昨年来扱い多端、慰勞	
2035	若狭屋久左衛門	深浦町名主	銭3貫文	"	
2036	弥九郎	記載なし	銭2貫文	"	

2037	三蔵町ノ幸右衛門		銭5貫文		台場建設の際尽力
2038	中村源五郎	囚獄緒方加勢	銭5貫文		一昨年来扱い多端、慰勞
2039	木村三次郎	一等銃卒	銭20貫文		秋田出張
2040	古川泰弥	一等銃卒	銭15貫文		"
2041	鹿内茂之助	一等銃卒	銭15貫文		"
2042	成田久次郎	記載なし	銭3貫文		深浦出張
2043	工藤惣次郎	記載なし	銭3貫文		"
2044	石川西蔵	記載なし	銭3貫文		小泊出張
2045	林 藤之助	記載なし	銭3貫文		"
2046	今 孫三郎	記載なし	銭3貫文		"
2047	榎木善之助	一等銃卒	銭5貫文		出役附属にて各所出張
2048	中村東五郎	一等銃卒	銭5貫文		"
2049	松井尾次郎	一等銃卒隊外	銭5貫文		"
2050	石沢徳弥	藩庁小使	銭5貫文		"
2051	笹森宇之丈	藩庁小使加勢	銭5貫文		"
2052	坂本清太郎	藩庁小使加勢	銭5貫文		"
2053	高田惣三郎	藩庁小使加勢	銭5貫文		"
2054	富田村ノ孫次郎	藩庁外使	銭5貫文		"
2055	浅瀬石村ノ源之丞	藩庁外使	銭5貫文		"
2056	栗原蔵三郎	一等銃卒	銭3貫文		"
2057	工藤元吉	一等銃卒	銭3貫文		"
2058	石戸谷和吉	三等銃卒	銭3貫文		"
2059	小田桐久治	藩庁小使	銭3貫文		"
2060	石岡藤之丞	藩庁小使加勢	銭3貫文		"
2061	二本木村ノ八十吉	藩庁外使	銭3貫文		"
2062	和徳村ノ初弥	藩庁外使	銭3貫文		"
2063	藤崎村ノ留五郎	藩庁外使	銭3貫文		"
2064	中村ノ久蔵	藩庁外使	銭3貫文		"
2065	外瀬村ノ銀蔵	藩庁外使	銭3貫文		"
2066	藤崎村ノ岩蔵	藩庁外使	銭3貫文		"
2067	新谷幸之丞	一等銃卒嚮導	銭3.5貫文		京都詰合
2068	斎藤宇門	一等銃卒嚮導	銭3.5貫文		"
2069	一戸治助	一等銃卒隊外	銭3.5貫文		"
2070	石沢嘉七	一等銃卒	銭3.5貫文		"
2071	藤川得一郎	一等銃卒嚮導	銭3貫文		"
2072	西山浅吉	一等銃卒嚮導	銭3貫文		"
2073	柿崎徳衛	一等銃卒	銭3貫文		"
2074	清藤忠八	一等銃卒	銭3貫文		"
2075	五十嵐常吉	一等銃卒	銭3貫文		"
2076	福岡幸作	一等銃卒	銭3貫文		"
2077	柿崎幸八	一等銃卒	銭3貫文		"
2078	長内民治	一等銃卒	銭3貫文		"
2079	櫛引久八	一等銃卒	銭3貫文		"
2080	三浦八十平	一等銃卒嚮導	銭3貫文		"
2081	奈良寅蔵	二等銃卒	銭3貫文		"
2082	福土源蔵		銭3.5貫文		源蔵は二等銃隊元四郎親
2083	斎藤多次郎		銭3貫文		多次郎は一等銃卒隊外孫吉親
2083	元寺町ノ次郎吉	掃除方	銭3貫文		各隊附属出張、慰勞
2084	高屋村ノ太兵衛	掃除方	銭3貫文		"
2085	鳥井野村ノ専左衛門	掃除方	銭3貫文		"
2086	川村ノ定市	掃除方	銭3貫文		"
2087	中田村ノ清之助	掃除方	銭3貫文		"
2088	川村ノ善四郎	掃除方	銭3貫文		"
2089	紺屋町ノ要右衛門	掃除方	銭3貫文		"
2090	川村ノ四方右衛門	掃除方	銭3貫文		"
2091	荒川村ノ久作	掃除方	銭3貫文		"
2092	樋口村ノ文三郎	掃除方	銭3貫文		"
2093	和徳村ノ惣助	掃除方	銭3貫文		"
2094	大袋村ノ金平	掃除方	銭3貫文		"
2095	小比内村ノ忠吉	掃除方	銭3貫文		"
2096	川村ノ喜兵衛	掃除方	銭3貫文		"
2097	向外瀬村ノ倉蔵	掃除方	銭3貫文		"
2098	福村ノ樹作	掃除方	銭3貫文		"
2099	紙漉村ノ富次郎	掃除方	銭3貫文		"
2100	野木村ノ七郎	掃除方	銭3貫文		"
2101	荒川村ノ専太郎	掃除方	銭3貫文		"
2102	木造村ノ与惣蔵	掃除方	銭3貫文		"
2103	富田村ノ与三	掃除方	銭3貫文		"
2104	船水村ノ茂十郎	掃除方	銭3貫文		"
2105	富田村ノ直七	掃除方	銭3貫文		"
2106	石渡村ノ末吉郎	掃除方	銭3貫文		"
2107	外崎村ノ八五郎	掃除方	銭3貫文		"
2108	外瀬村ノ二助	掃除方	銭3貫文		"
2109	小比内村ノ鉄吉	掃除方	銭3貫文		"
2110	駒越村ノ力弥	掃除方	銭3貫文		"
2111	福田村ノ円次郎	會計局小使紙庫帳合方加勢	銭3貫文		"
2112	原田村ノ文太郎	掃除方	銭3貫文		"
2113	種市村ノ久五郎	掃除方	銭3貫文		"
2114	富田村ノ勇八	掃除方	銭3貫文		"

2115	松森町ノ十郎	掃除方	銭3貫文		
2116	和徳村ノ利三郎	掃除方	銭3貫文		
2117	堀越村ノ源藏	掃除方	銭3貫文		
2118	藤代村ノ宇兵衛	掃除方	銭3貫文		
2119	川村ノ元作	掃除方	銭3貫文		
2120	白沢村ノ源四郎	掃除方	銭3貫文		
2121	富田村ノ子之作	掃除方	銭3貫文		
2122	茂森町ノ弥兵衛	掃除方	銭3貫文		
2123	宮館村ノ熊三郎	掃除方	銭3貫文		
2124	富田村ノ龜弥	掃除方	銭3貫文		
2125	龜甲町ノ松右衛門	掃除方	銭3貫文		
2126	埴部源左衛門	三等銃卒	銭3貫文		
2127	川村ノ才兵衛	掃除方	銭3貫文		
2128	平岡町ノ左吉	掃除方	銭3貫文		
2129	熊嶋村ノ岩七	掃除方	銭3貫文		
2130	岩館村ノ万作	掃除方	銭3貫文		
2131	駒越村ノ元之助	掃除方	銭3貫文		
2132	川村ノ儀作	掃除方	銭3貫文		
2133	外瀬村ノ永弥	掃除方	銭3貫文		
2134	熊嶋村ノ金次郎	掃除方	銭3貫文		
2135	稻師町ノ平右衛門	掃除方	銭3貫文		
2136	荒町ノ勇助	掃除方	銭3貫文		
2137	平岡町ノ常平	掃除方	銭3貫文		
2138	土手町ノ建五郎	掃除方	銭3貫文		
2139	秋本嘉吉	伝令役	銭3.5貫文		
2140	窪田兵吉	伝令役	銭3.5貫文		
2141	木村源三郎	伝令役	銭3.5貫文		
2142	小笠原永太郎	伝令役	銭3.5貫文		
2143	斎藤愛作	伝令役	銭3.5貫文		
2144	斎藤儀助	伝令役	銭3.5貫文		
2145	木村庄右衛門	伝令役	銭3.5貫文		
2146	白取勘三郎	伝令役	銭3.5貫文		
2147	西田健吉	銃隊員	銭3貫文		鷹沢口間道出張、慰勞
2148	小山内四郎左衛門	銃隊員	銭3貫文		
2149	高坂清兵衛	銃隊員	銭3貫文		
2150	三上幸之助	銃隊員	銭3貫文		
2151	原子周助	銃隊員	銭3貫文		
2152	工藤高次郎	銃隊員	銭3貫文		
2153	田名部嘉三郎	銃隊員	銭3貫文		
2154	原子寅吉	銃隊員	銭3貫文		
2155	木村次左衛門	銃隊員	銭3貫文		
2156	豊川半左衛門	銃隊員	銭3貫文		
2157	須藤安太郎	銃隊員	銭3貫文		
2158	奥崎平次郎	銃隊員	銭3貫文		
2159	小笠原市太郎	銃隊員	銭3貫文		
2160	太田与吉	銃隊員	銭3貫文		
2161	小笠原弥七郎	銃隊員	銭3貫文		
2162	鹿内伊太郎	銃隊員	銭3貫文		
2163	山田松太郎	銃隊員	銭3貫文		
2164	豊川平吉	銃隊員	銭3貫文		
2165	鹿内長次郎	銃隊員	銭3貫文		
2166	三上三十郎	銃隊員	銭3貫文		
2167	鳴海玉吉	銃隊員	銭3貫文		
2168	斎藤儀三郎	銃隊員	銭3貫文		
2169	三浦彦太郎	銃隊員	銭3貫文		
2170	田名部円太郎	銃隊員	銭3貫文		
2171	渡辺仁三郎	銃隊員	銭3貫文		
2172	木村次郎兵衛	銃隊員	銭3貫文		
2173	鹿内子之助	銃隊員	銭3貫文		
2174	和田三助	銃隊員	銭3貫文		
2175	奥崎卯一郎	銃隊員	銭3貫文		
2176	三浦三太郎	銃隊員	銭3貫文		
2177	徳差甚太郎	銃隊員	銭3貫文		
2178	原子小兵衛	銃隊員・小荷駄并彈藥取扱	銭3貫文		
2179	浅瀬石村ノ清作	猟師	銭3貫文		早瀬野口間道出張
2180	虹貝村ノ伊之丞	猟師	銭3貫文		
2181	原ヶ平村ノ巳之丞	猟師	銭3貫文		
2182	居士村ノ文司	猟師	銭3貫文		
2183	長富村ノ弥惣司	猟師	銭3貫文		
2184	虹貝村ノ次郎作	猟師	銭3貫文		
2185	長峰村ノ三四郎	猟師	銭3貫文		
2186	一野渡村ノ小三郎	猟師	銭3貫文		一野渡村間道出張
2187	一野渡村ノ兵吉	猟師	銭3貫文		
2188	悪戸村ノ銀次郎	猟師	銭3貫文		
2189	紙渡沢村ノ丑	猟師	銭3貫文		
2190	一野渡村ノ与七	猟師	銭3貫文		
2191	一野渡村ノ伊之松	猟師	銭3貫文		
2192	一野渡村ノ三之丞	猟師	銭3貫文		
2193	一野渡村ノ長松	猟師	銭3貫文		
2194	大和沢村ノ長之助	猟師	銭3貫文		

2195	大和沢村ノ要七	胤師	銭3貫文		〃
2196	大和沢村ノ九左衛門	胤師	銭3貫文		〃
2197	狼ノ森村ノ専太郎	胤師	銭3貫文		〃
2198	狼ノ森村ノ子ノ	胤師	銭3貫文		〃
2199	田茂木野村ノ巳之助	胤師	銭3貫文		右倉越間道出張
2200	滝沢村ノ助左衛門	胤師	銭3貫文		〃
2201	田茂木野村ノ酉	胤師・狩師心得之者	銭3貫文		〃
2202	田茂木野村ノ由吉	胤師	銭3貫文		〃
2203	滝沢村ノ幸之	胤師	銭3貫文		〃
2204	滝沢村ノ永助	胤師	銭3貫文		〃
2205	横内村ノ金四郎	胤師	銭3貫文		〃
2206	横内村ノ伴次郎	胤師	銭3貫文		〃
2207	横内村ノ三之助	胤師	銭3貫文		〃
2208	横内村ノ清松	胤師	銭3貫文		〃
2209	黒崎村ノ長吉	胤師	銭3貫文		大間越間道出張
2210	大間越村ノ甚四郎	胤師	銭3貫文		〃
2211	松原村ノ長司	胤師	銭3貫文		〃
2212	大童子村ノ長助	胤師	銭3貫文		〃
2213	目内崎村ノ忠三郎	胤師	銭3貫文		〃
2214	目内崎村ノ忠吉	胤師	銭3貫文		〃
2215	館森村ノ治右衛門	胤師	銭3貫文		〃
2216	館森村ノ孫六	胤師	銭3貫文		〃
2217	久田村ノ六左衛門	胤師	銭3貫文		〃
2218	大間越村ノ松	胤師	銭3貫文		〃
2219	鶴ヶ坂村ノ多七	胤師	銭3貫文		野辺地口出張
2220	鶴ヶ坂村ノ万助	胤師	銭3貫文		〃
2221	小国村ノ八平	胤師	銭3貫文		〃
2222	大川平村ノ松蔵	胤師	銭3貫文		〃
2223	館前村ノ東四郎	胤師	銭3貫文		大館口出張
2224	金沢村ノ忠三郎	胤師	銭3貫文		〃
2225	大然村ノ矩次郎	胤師	銭3貫文		〃
2226	湯口村ノ周太郎	胤師	銭3貫文		南部領境界探索出張
2227	大然村ノ三九郎	胤師	銭3貫文		〃
2228	久吉村ノ申松	胤師	銭3貫文		〃
2229	川原平村ノ孫六	胤師	銭3貫文		〃
2230	砂子瀬村ノ藤助	胤師	銭3貫文		〃
2231	村市村ノ富次郎	胤師	銭3貫文		〃
2232	大秋村ノ富五郎	胤師	銭3貫文		〃
2233	大沢村ノ助五郎	胤師	銭3貫文		〃
2234	居士村ノ孫十郎	胤師	銭3貫文		〃
2235	居士村ノ次郎	胤師	銭3貫文		〃
2236	居士村ノ万太	胤師	銭3貫文		〃
2237	錠ヶ間村ノ伊助	胤師	銭3貫文		〃
2238	錠ヶ間村ノ長松	胤師	銭3貫文		〃
2239	錠ヶ間村ノ多助	胤師	銭3貫文		〃
2240	錠ヶ間村ノ太助	胤師	銭3貫文		〃
2241	錠ヶ間村ノ佐五兵衛	胤師	銭3貫文		〃
2242	錠ヶ間村ノ太郎	胤師	銭3貫文		〃
2243	嶋田村ノ甚五郎	胤師	銭3貫文		〃
2244	久栗坂村ノ孫兵衛	記載なし	銭7貫文		南部領境界探索出張
2245	赤石永吉	一等候卒	銭10貫文		秋田表出張
2246	境間村ノ矩右衛門	貸人	銭7貫文		数度登下
2247	佐藤吉之丞	二等候卒	銭3貫文		樽ヶ沢出張
2248	西沢蔵十郎	記載なし	銭3貫文		〃
2249	奈良岡吉弥		銭3貫文		吉弥は掃除方文助親
2250	木村甚之助	二等候卒	銭3貫文		〃
2251	樋口権六	三等候卒	銭3貫文		〃
2252	宮本勇次郎	記載なし	銭3貫文		〃
2253	対馬勝之丞	記載なし	銭3貫文		〃
2254	相馬松之丞	記載なし	銭3貫文		〃
2255	角田亀五郎	三等候卒・捕亡加勢	銭3貫文		〃
2256	成田市蔵	三等候卒	銭3貫文		〃
2257	伊藤謙次郎		銭3貫文		〃
2258	成田友作	一等候卒	銭3貫文		旗次郎は掃除方良助親
2259	菊地元一郎	記載なし	銭3貫文		〃
2260	中村栄三郎	彈薬才料・二等候卒	銭3貫文		東海岸出張
2261	宮本謙之助	二等候卒	銭3貫文		〃
2262	吉野左太郎	砲卒・二等候卒	銭3貫文		〃
2263	成田幸八郎	三等候卒	銭3貫文		〃
2264	八木橋卯十郎	三等候卒	銭3貫文		〃
2265	船水文吉	三等候卒・嚮導	銭3貫文		〃
2266	川村与八	二等候卒	銭3貫文		〃
2267	工藤末五郎	三等候卒	銭3貫文		〃
2268	田川丑次郎	三等候卒	銭3貫文		〃
2269	小中末八郎	三等候卒	銭3貫文		〃
2270	山口清蔵	三等候卒	銭3貫文		〃
2271	船水多七	三等候卒	銭3貫文		〃
2272	木村宇吉	三等候卒	銭3貫文		〃
2273	鎌田松太郎	三等候卒	銭3貫文		〃
2274	石塚吉之丞	三等候卒	銭3貫文		〃

2275	木村金左衛門	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2276	阿部辰藏	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2277	成田喜之助	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2278	木中紋次郎	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2279	佐藤富藏	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2280	松田三保藏	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2281	小野欽吉	一等銃卒	銭3貫文		碓ヶ関出張	
2282	金岡勝弥	一等銃卒	銭3貫文		碓ヶ沢出張	
2283	佐藤敬吉	一等銃卒	銭3貫文		碓ヶ沢出張	
2284	高木豊太郎	一等銃卒	銭3貫文		碓ヶ沢出張	
2285	棟方安之助	一等銃卒	銭3貫文		大間越出張	
2286	佐藤甚左衛門	一等銃卒	銭3貫文		油川出張	
2287	大瀬徳太郎	一等銃卒	銭3貫文		赤石出張	
2288	二川原兵治	一等銃卒	銭3貫文		大間越出張	
2289	川村吉五郎	一等銃卒	銭3貫文		青森出張	
2290	福土孫吉	二等銃卒	銭3貫文		碓ヶ沢出張	
2291	三浦武藏	二等銃卒	銭3貫文		東海岸出張	
2292	福田友太郎	二等銃卒	銭3貫文		青森出張	
2293	中村治三郎	三等銃卒	銭3貫文		平館出張	
2294	石川甚八郎	三等銃卒	銭3貫文		十三出張	
2295	石田磯次郎	三等銃卒	銭3貫文		薄市出張	
2296	金沢喜助	三等銃卒	銭3貫文		油川出張	
2297	長尾惣作	三等銃卒	銭3貫文		油川出張	
2298	長谷部今藏	三等銃卒	銭3貫文		大間越出張	
2299	豊島太郎吉	三等銃卒	銭3貫文		十三出張	
2300	川口駒之助	二等銃卒次席山林見廻方	銭3貫文		碓ヶ沢出張	
2301	小畑富太郎	記載なし	銭3貫文		碓ヶ沢出張	
2302	豊田飛吉	一等銃卒隊外	銭3.5貫文		松前詰合	
2303	杉村要藏	一等銃卒隊外	銭3.5貫文		〃	
2304	古川孫右衛門		銭3貫文		〃	孫右衛門は一等銃卒 常作親
2305	対馬作太郎	一等銃卒	銭3貫文		〃	
2306	坂本富藏	一等銃卒	銭3貫文		〃	
2307	千葉龍吉	一等銃卒	銭3貫文		〃	
2308	佐藤善四郎	一等銃卒	銭3貫文		〃	
2309	三浦要八		銭3貫文		〃	要八は一等銃卒徳藏 親
2310	織田辰吉	一等銃卒嚮導	銭3貫文		〃	
2311	今 清七		銭3貫文		〃	清七は三等銃卒清市 親
2312	千葉丈助	三等銃卒隊外	銭3貫文		〃	
2313	阿部吉五郎	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2314	太田福太郎	三等銃卒	銭3貫文		〃	
2315	工藤藏吉		銭3貫文		〃	藏吉は三等銃卒彦太 郎親
2316	富田村ノ与三郎	廻掃除方	銭3貫文		〃	
2317	福田村ノ米太郎	雇掃除方・雇廻掃除方	銭3貫文		〃	
2318	宮川源吾	一等銃卒	銭3貫文		青森出張	
2319	阿部辰十郎	一等銃卒	銭3貫文		青森出張	
2320	須藤伝右衛門	一等銃卒	銭3貫文		青森出張	
2321	角田福次郎	一等銃卒	銭3貫文		薄市出張	
2322	猪股平太郎	一等銃卒	銭3貫文		小湊出張	
2323	工藤七郎	一等銃卒	銭3貫文		東海岸出張	
2324	成田春吉	一等銃卒	銭3貫文		油川・青森出張	
2325	三橋亀次郎	一等銃卒	銭3貫文		青森出張	
2326	黒滝熊五郎	一等銃卒	銭3貫文		唐竹出張	
2327	藤田貞助	一等銃卒	銭3貫文		油川出張	
2328	藤田善八郎	一等銃卒	銭3貫文		油川出張	
2329	福土利吉	一等銃卒	銭3貫文		蟹田出張	
2330	富田忠之進	一等銃卒	銭3貫文		蟹田出張	
2331	工藤亀弥	一等銃卒	銭3貫文		蟹田出張	
2332	川村弥市	二等銃卒	銭3貫文		蟹田出張	
2333	森田蔵太郎		銭3貫文		蟹田出張	
2334	今 常五郎	三等銃隊隊外	金200疋		各所出張	
2345	光股久太郎		金200疋		各所出張	久太郎は三等銃卒久 之進親
2346	小山善之助	三等銃卒	銭3貫文		唐竹出張	
2347	佐藤亀吉	銃師	銭3貫文		武庫方にて各所出張	
2348	幸吉	銃師	銭3貫文		〃	
2349	国友兵藏	銃師	銭3貫文		〃	
2350	平田藤吉	銃師	銭3貫文		〃	
2351	最上長兵衛	銃師	銭3貫文		〃	
2352	牧賀清助	銃師	銭3貫文		〃	
2353	二唐市郎	銃師	銭3貫文		〃	
2354	森田市藏	銃師	銭3貫文		〃	
2355	忠吉	銃師佐藤亀吉弟子	銭2貫文		〃	
2356	三助	銃師幸吉弟子	銭2貫文		〃	
2357	元吉	銃師国友兵藏弟子	銭2貫文		〃	
2358	末吉	銃師平田藤吉弟子	銭2貫文		〃	
2359	春吉	銃師最上長兵衛弟子	銭2貫文		〃	
2360	弥助	銃師牧賀清助弟子	銭2貫文		〃	
2361	山下寛之丞	一等銃卒	銭3貫文		〃	

2362	木村儀八	二等銃卒	銭3貫文		〃
2363	対馬伊之助	三等銃卒	銭3貫文		〃
2364	成田伊太郎	武庫帳合方次席	銭3貫文		〃
2365	石郷村ノ平治	掃除方	銭3貫文		〃
2366	乳井村ノ源三郎	掃除方	銭3貫文		〃
2367	中村ノ幸四郎	掃除方	銭3貫文		〃
2368	賀田村ノ久六郎	掃除方	銭3貫文		〃
2369	奈良藤藏	記載なし	銭3貫文		青森出張
2370	佐藤又助	記載なし	銭3貫文		〃
2371	長尾久治	記載なし	銭3貫文		〃
2372	境森村ノ由兵衛	仲間	銭3貫文		〃
2373	新谷村ノ栄五郎	仲間	銭3貫文		〃
2374	茂森町ノ丈助	仲間	銭3貫文		〃
2375	境村ノ寅助	仲間	銭3貫文		〃
2376	福村ノ雷助	仲間	銭3貫文		〃
2377	相馬村ノ清松	仲間	銭3貫文		〃
2378	小畑村ノ七三郎	仲間	銭3貫文		〃
2379	品川町ノ弟吉	厩口取	銭3貫文		〃
2380	大光寺村ノ元太郎	厩口取	銭3貫文		〃
2381	駒越村ノ勘五郎	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2382	諏訪堂村ノ末十郎	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2383	和徳村ノ助次郎	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2384	寺小路ノ富八	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2385	川村ノ長十郎	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2386	町田村ノ巳之丞	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2387	中村ノ幸五郎	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2388	堅田村ノ常助	厩附掃除方	銭3貫文		〃
2389	木村綱右衛門	仲間締方次席	銭3貫文		〃
2390	境堰村ノ助左衛門	仲間締方次席	銭3貫文		〃
2391	板柳村ノ三六	仲間締方次席	銭3貫文		〃
2392	諏訪堂村ノ勝平	仲間締方次席	銭3貫文		〃
2393	取上村ノ元之助	仲間締方次席	銭3貫文		〃
2394	渡辺弥右衛門	記載なし	銭3貫文		各所出張
2395	工藤藤兵衛	記載なし	銭3貫文		〃
2396	葛西伴藏	記載なし	銭3貫文		〃
2397	小笠原直藏	記載なし	銭3貫文		〃
2398	外崎清八	記載なし	銭3貫文		〃
2399	間山勇吉	記載なし	銭3貫文		〃
2400	成田小六	記載なし	銭3貫文		〃
2401	田中金八	記載なし	銭3貫文		〃
2402	岩崎与七	記載なし	銭3貫文		〃
2403	古川定吉	記載なし	銭3貫文		〃
2404	佐藤廣吉	記載なし	銭3貫文		〃
2405	岡野屋金次郎	記載なし	銭3貫文		〃
2406	長谷川篤右衛門	記載なし	銭3貫文		〃
2407	小栗山兼藏	記載なし	銭3貫文		〃
2408	万左衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2409	角内	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2410	勘太郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2411	荒五郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2412	藤次郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2413	和吉	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2414	長之助	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2415	円次郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2416	角左衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2417	峰右衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2418	亀吉	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2419	金藏	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2420	鯉藏	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2421	九左衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2422	長左衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2423	豊八	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2424	才太郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2425	要吉	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2426	三之丞	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2427	長次郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2428	志賀八	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2429	多作	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2430	熊右衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2431	忠太郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2432	文左衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2433	卯之助	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2434	荒八	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2435	岩次郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2436	廣八	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2437	卯助	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2438	■八	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2439	勘十郎	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2440	西藏	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2441	雲右衛門	鷹ノ者	銭3貫文		〃
2442	岩八	鷹ノ者	銭3貫文		〃

2443	綱八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2445	清次郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2446	荒蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2447	嘉助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2448	藤右衛門	薦ノ者	銭3貫文		〃
2449	善蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2450	旗右衛門	薦ノ者	銭3貫文		〃
2451	金次郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2452	長吉	薦ノ者	銭3貫文		〃
2453	九郎助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2454	熊八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2455	丑之助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2456	亥之助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2457	市太郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2458	佐吉	薦ノ者	銭3貫文		〃
2459	次三郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2460	角八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2461	権七	薦ノ者	銭3貫文		〃
2462	吉太郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2463	孫六	薦ノ者	銭3貫文		〃
2464	永助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2465	国八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2466	三郎兵衛	薦ノ者	銭3貫文		〃
2467	惣助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2468	由蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2469	鶴松	薦ノ者	銭3貫文		〃
2470	善八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2471	兼九郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2472	寅蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2473	勘七	薦ノ者	銭3貫文		〃
2474	伝之丞	薦ノ者	銭3貫文		〃
2475	倉蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2476	久米蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2477	寅之助	薦ノ者	銭3貫文		〃
2478	国五郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2479	又十郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2480	丑太郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2481	権蔵	薦ノ者	銭3貫文		〃
2482	淀八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2483	碓平	薦ノ者	銭3貫文		〃
2484	字作	薦ノ者	銭3貫文		〃
2485	又八	薦ノ者	銭3貫文		〃
2486	文次郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2487	弥吉	薦ノ者	銭3貫文		〃
2488	助五郎	薦ノ者	銭3貫文		〃
2489	七左衛門	薦ノ者	銭3貫文		〃
2490	神 万之助	二等統卒	銭3貫文		薦締方として各所出張
2491	貴田谷蔵	三等統卒次席	銭3貫文		〃
2492	石渡村ノ弥太八	掃除方	銭3貫文		〃
2493	悪戸村ノ巖八	記載なし	銭3貫文		各所出張
2494	新里村ノ善八	記載なし	銭3貫文		〃
2495	三世寺村ノ重兵衛	記載なし	銭3貫文		〃
2496	石川村ノ久治	記載なし	銭3貫文		〃
2497	藤代村ノ佐五兵衛	記載なし	銭3貫文		〃
2498	杉館村ノ惣次郎	記載なし	銭3貫文		〃
2499	北横町ノ寅七	記載なし	銭3貫文		〃
2500	野沢字十郎	一等統卒	銭3貫文		青森出張
2501	藤田久宅	記載なし	銭3貫文		〃
2502	近藤伝弥	記載なし	銭3貫文		〃
2503	斎藤周悦	記載なし	銭3貫文		〃
2504	壁田村ノ元右衛門	掃除方		掃除締方次席へ	各所輪重方出張
2505	成田伝之丞	鼓手	金500疋		国上寺出張
2506	田浦兵八郎	鼓手	金500疋		青森出張
2507	今 志馬之助	鼓手	金500疋		唐竹出張
2508	対馬鉄弥	鼓手	金500疋		碓ヶ岡出張
2509	井上栄三	医師	金250疋		各所出張
2510	矢嶋周禎	医師	金250疋		〃
2511	上原元水	医師	金250疋		〃
2512	和田玄庸	医師	金250疋		〃
2513	古郡玄宜	医師	金250疋		〃
2514	石黒道曆	医師	金250疋		碓ヶ岡出張
2515	高橋玄丈	医師	金250疋		青森出張
2516	須川昌仙	医師	金250疋		青森出張
2517	小野道悦	医師	金250疋		青森出張
2518	嶋田元庵	医師北岡有格弟子	0.5兩		各所出張
2519	手塚右一	初等准格御雇医師	金250疋		深浦出張
2520	南 了齋	青森町医	1兩		蟹田・青森出張
2521	高木啓太郎	青森町医	1兩		小湊出張
2522	岸 太周	青森町医	1兩		小湊出張
2523	多田文齡	碓ヶ岡町医	1兩		大病院詰

2524	三橋隆伯	蟹田町医	1両		碓ヶ関・青森病院詰	
2525	窪田文權	青森町医	1両		小湊出張	
2526	生駒文仲	青森町医	1両		松前出張	
2527	唐牛昌考	青森町医	1両		青森大病院詰	
2528	唐牛陳作	青森町医	1両		青森大病院詰	
2529	館山宗八	青森町医	1両		青森大病院詰	
2530	伊藤啓純	蟹田町医	1両		蟹田出張	
2531	清原三省	三厩町医	1両		三厩出張	
合計				134.5両・金39400疋 ・銭1570.5貫文		